

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和4年12月8日

公表:令和5年3月10日

事業所名 ポカラポット梅森坂

		チェック項目	はい (%)	どちらとも いえない (%)	いいえ (%)	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100				
	2	職員の配置数は適切である	50	50		入念にワークの打ち合わせを実施	基準に沿った職員配置を行っているが、より質の高い運営のために、社内他事業所のスタッフ配置や交流を促進していく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	75	25		つまづきやすい箇所を点検し、絨毯の張り替えを実施	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	25		75	社内の第三者評価調査者資格をもつスタッフがチェックを行っている	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100				
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	50		50	メモや文書、HUGシステムを活用し記録や情報共有を行っている	各スタッフで情報を整理し、翌日の支援開始前のミーティングで情報共有を確実にしている。緊急性のある事案は当日に連絡を取り合っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	75	25		今年度も、児童発達支援管理責任者、主任保育士、ケースによっては複数のスタッフで出席をした	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		50	50	成育歴はアセスシート、面談で確認を行っている	利用児の中心が中学生・高校生であるため、就学前の機関と連携する機会がない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		50	50		現時点では該当ケースがないが、移行先より要請があった場合には、これまでの支援の総括や支援資料を提供したい
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		50	50	市や県の主催する研修にスタッフが出席している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			100	地域の公園での活動、近隣の清掃活動・避難訓練などを実施	児童施設や事業所外の子どもとの交流については機会こそ設けていないが、地域や社会と関わる活動はプログラムに取り入れており、今後も継続していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	75	25		参加できるように職員体制を整えている	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100				
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	75		25		アフターコロナに向けて、安全で有効な保護者支援の機会をどのように設けられるかを検討し、継続してスタッフのスキルアップにも取り組んでいく	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	75	25		電話、面談、LINEなど、様々な方法で相談を受け付ける準備をしている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100				
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	75	25		苦情対応のフローチャートを設けている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	75	25		活動内容はHUGシステムでいつでも保護者が携帯から閲覧できるようになっている	今後インスタ等のSNSの活用を検討している
	35	個人情報に十分注意している	100				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		50	50	今年度は「あきまつり」を開催	今後の社会情勢に合わせたイベントの規模や形態を模索していく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100				